

茜の空



令和4年 9月 6日
練馬区立石神井南中学校
学校便り 9月号

学習の秋、文化の秋、スポーツの秋を迎えて

～公正、校正、構成された情報で正しく動く～

校長 澤井 裕一

1学期末には、通知表が渡されました。進級してから約100日間に渡って教科指導をした先生方から、生徒の皆さんが頑張って勉強した成果を表現しています。「公正」に評価された成績を素直な気持ちで受け止めて、今学期からの学習に活かしてください。先生方でたくさんの時間をかけて、間違いない様に確認である「校正」されています。大切にいつまでも保管してください。

通知表のスタイルは、励ましとなるよう「構成」されています。必ず、保護者に見せて、励ましてもらいましょう。弱い所を改善する気持ち、成果を大切にする気持ち、褒められて、そして、人を励ます優しい気持ちが溢れると素晴らしいことです。通知表に秘められている「公正」・「校正」・「構成」を今後の活動においても、また将来の仕事においても生かす姿勢を期待しています。

さて、この夏は甲子園の優勝旗が白河の関を超えました。100年以上が経過した理由の一つに東北地方太平洋沖地震発生の影響もあるかと考えます。大正12年9月1日正午前には、突然関東地方を中心とした大地震が起こりました。マグニチュード7.9と発表されて東京では家が壊れるほどの揺れが長く続いたそうです。お昼ごはんの準備で火を使っていた家庭も多く、この地震で東京・横浜は3日間にわたっての火の海となったと言われています。死者と行方不明者14万人、壊れた家の数は25万戸、焼けた家の数44万戸にのぼりました。平成7年に阪神淡路大震災等の大きな規模の被害となる地震発生が続いています。災害時には、正しい情報に基づいて冷静に行動する力を日頃から身に付けられている事が大切です。仲間と助け合って行動して、決して間違った風評を流したり過度に落ち込まないことが必要です。

この夏は、3年ぶりにプール開きをしました。水からも学べる事もあります。水は、自ら活動して他を動かす力があり障害物に遭うと激しく勢いを倍加します。常に己の進路を進めて、止まる事がないです。とても潔く、汚れを洗い流します。水は、私たちの生活になくてはならない存在です。しかし、身近過ぎるためにありがたみや性質を忘れて事故も起こります。生き方の参考に大切にしたいです。

生徒の活躍をお知らせします

どの部活動も、それぞれの目標に向けて努力しています。夏季休業中に行われた大会やコンクールで練習の成果を発揮し、表彰を受けた部活動を紹介します。

○バドミントン部

- 杉本 凜さん 練馬区中学校生バドミントン大会 一部女子シングルス 第1位
- 岩本莉奈さん 東京都中学校第Bブロック選手権大会 女子シングルス 第3位
- 東京都中学生バドミントンBブロック大会 女子シングルス 第3位
- 全日本ジュニア練馬区予選会 女子シングルス第1位
- 練馬区中学校生バドミントン大会 二部女子シングルス 第1位

○ソフトテニス部

- 寺田道音くん 山崎颯一くん 練馬区民体育大会 中学男子個人の部 第5位

○吹奏楽部

- 東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

夏休み中の活動の様子



左上：連合陸上
選手朝練
上：演劇部
右上：バドミントン部
左下：剣道部
右下：バスケット部



夏季休業期間中の体育館空調工事に伴い、体育館を使用する部は、下石神井小学校をお借りして活動しました。下石神井小学校や施設開放の御担当者様には大変お世話になり、ありがとうございました。その他の運動部や文化部も、それぞれ充実した活動のようすが見られました。また9月に予定されている連合陸上大会に向けた練習も行われました。多くの部活動がこれから大会や発表会、作品の展示を控えています。それぞれ練習の成果が表れるといいです。

お花のお世話をありがとうございました



夏季休業中、PTAの皆様が、花壇のお世話をしてくださいました。お陰様で、華やかな花壇も、厳しい暑さが続いた夏を乗り切ることができました。

先生方の座右の銘を紹介します

4月に生徒会主催で行われた対面式で、1年生に向けて発表した教員一人一人の「座右の銘」。せっかくなので、今年度からそれらを定期的に入れ替えながら、2つずつ校内に掲示しています。学校だよりでも少しずつ紹介していきます。

物事の8割は準備で決まる

2学年 村前 拓也

この言葉は私が大学生の時の教職課程の担当の先生がおっしゃっていた言葉です。当時、教育実習や教員採用試験に向けて準備をする時期に差し掛かっていましたが、その時の授業において、物事に取り組むときの準備の重要性について学ぶことができました。なんとなくの準備では、中途半端な結果しか残せず、想定外の出来事にも対応できないものです。当たり前のことですが、この言葉を意識するようになってからは、焦ったり、仕事や作業に追われたりすることが減ったように感じます。大学生の時ではなく、もっと早い段階で気付きたかったと今になって思います。石南中の生徒にも意識してほしい考え方の一つとなっています。

頑張るときはいつも今

2学年 大石 恭一朗

私の中学1年の時の担任K先生がいつも生徒に言っていた言葉です。K先生は体育科で、身体は大きかったのですが、とてもやさしくて生徒からとても好かれていました。

私は運動会の時に選抜リレーの選手に選ばれアンカーを任されました。私はバトンを受けとった後、一生懸命に走らず、少し手を抜いて走ってしまいました。それが原因の一つとなり、私のクラスは運動会で勝利することはできませんでした。運動会が終わったあと、私はK先生に呼ばれました。真っ赤な顔で怒っているのが分かります。「大石、なんで手を抜いたんだ。リレーに出たくても出られない生徒がいるのが分からないのか。お前はあの生徒の気持ちも踏みにじったんだぞ。二度とそういう事をするな」と厳しい口調で話されました。私はその時に、「頑張るときはいつも今」ということを忘れていたことに気付きました。

実は、K先生はその年の1月、体調を崩され入院したのち、亡くなってしまいましたが、それから、私は部活だけではなく、学習やほかの行事においても、時に苦しい時、煮詰まった時に、

K先生から伝えられた言葉を思い出すようにしています。

みなさんも学習や部活などで、挫けそうなきがある時にはぜひこの言葉を思い出してみてください。

弱気は最大の敵

2学年 小島 康裕

高校から陸上競技部に入り、本格的に中距離種目の毎日の練習と帰宅後の自主練習の走り込みで大会に出場しては面白いように記録を伸ばせた順風満帆な日々から一転、元々痛めていたアキレス腱痛が再発した一年生シーズンオフ。春先に痛みは癒えたが練習や大会で再発の怖さに自信を無くし、練習もおろそかになっていたある日『ちょっと来い』と別の運動部の友人に呼ばれた。『怪我してずいぶん弱気になったな、敵は強いT高校やS高校ではなくて自分自身じゃないのか、お前はそんなもんなのか、見損なった』この一言が全身に電気が走る衝撃を受け、我に返ることができた。

結果はどうであれ、勝敗はどうであれ、体が壊れてもいいや、やれることを強気でやっけこう、今できることを全力でトライしよう・・・と“変心”させてくれたことがきっかけで大学まで陸上競技選手生活を全うできたこと。

あれから45年経過した今、立場こそ変わり陸上競技審判として携わっていることはあのとき声をかけてくれた仲間なくして語ることができない青春の一コマが座右の銘として船長の体に根付いています。

2学期もよろしくお願いたします

9月1日（木）から2学期が始まり、学校には生徒たちの活気が戻ってきました。1校時は部活動の表彰、始業式、学級活動が行われました。2校時から始まった授業では、夏休みの学習の成果をみる小テストも実施されました。

生徒の皆さんは、1学期の終わりに振り返ったそれぞれの課題を思い出し、2学期の学習活動に生かしましょう。

保護者の皆様、2学期も日々の「楽しい授業」とともに、様々な学習活動を通じて生徒の育成に努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



< 2学期の主な予定 >

9月 … 15日(木)、16日(金)中間考査 / 22日(木)連合陸上大会
10月 … 5日(水)～7日(金)修学旅行 / 14日(金)生徒会役員選挙 / 22日(土)文化発表会
11月 … 8日(火)～10日(木)期末考査 / 11日(金)セーフティ教室 / 27日(日)ESAT-J(※)
12月 … 2日(金)～9日(金)三者面談

(※)英語スピーキングテスト (3年生)

※その他、各学年行事もあります。詳細は、各学年通信等でお知らせします。